

## 法政大学出版局刊・『ジェンダー』関連図書のご案内

法政大学出版局は、古典から最新の理論書まで、ジェンダーを考えるのに最適な本を多数刊行しています。  
今後も続々と刊行する予定ですので、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### 【理論】

J. クリステヴァ著、枝川昌雄訳

#### 『恐怖の権力：〈オブジェクション〉試論』

権力・秩序＝父が、文化＝母を排除・抑圧してきた過程を追い、母なるものの奪還をめざす。

四六判 420 頁 定価 4,725 円  
1984 年刊

F.P. de・ラ・バル著、佐藤和夫他訳

#### 『両性平等論』

17 世紀の先駆的古典の完訳。

四六判 330 頁 定価 3,780 円  
1997 年刊

S. ベンハビブ著、向山恭一訳

#### 『他者の権利：外国人・居留民・市民』

すべての人間には「権利を持つ権利がある」と主張する。

四六判 264 頁 定価 2,730 円  
2006 年刊

A.B. ブラックウェル著、小川眞利子他訳

#### 『自然界における両性：雌雄の進化と男女の教育論』

19 世紀アメリカ初の女性牧師が、科学的に進化論や教育学を再考した古典。

四六判 218 頁 定価 2,625 円  
2010 年刊

W. ブラウン著、向山恭一訳

#### 『寛容の帝国：現代リベラリズム批判』

他者に対する寛容は倫理的美徳とされてきたが、そこに内包される権力作用を追究する。

四六判 370 頁 定価 4,515 円  
2010 年刊

### 【歴史・社会】

B. エーレンライク他著、長瀬久子訳

#### 『魔女・産婆・看護婦：女性医療家の歴史』

男性優位社会によってその地位を追われた女たちの歴史。1970 年代、女性解放運動の開始を告げた書。

四六判 204 頁 定価 2,310 円  
1996 年刊

L. アハメド著、林正雄・岡真理他訳

#### 『イスラームにおける女性とジェンダー』

西欧による植民地支配とジェンダー意識形成との関わりを解明する。

四六判 422 頁 定価 4,725 円  
2000 年刊

趙惠貞著、春木育美訳

#### 『韓国社会とジェンダー』

男女の自立と共生を進め、植民地近代の克服をめざす韓国社会論。

A 5 判 326 頁 定価 3,990 円  
2002 年刊

金斗憲著、李英美・金香男他訳

#### 『韓国家族制度の研究』

相続制度や冠婚葬祭、社会経済との関係など、多面的に紹介する。

A 5 判 696 頁 定価 10,080 円  
2008 年刊

R.S. コーワン著、高橋雄造訳

#### 『お母さんは忙しくなるばかり：家事労働とテクノロジーの社会史』

家電が発達するにつれて、むしろ家事労働が主婦に集約されていく過程を描く。

四六判 340 頁 定価 3,990 円  
2010 年刊

U. ナーラーヤン著、塩原良和監訳

#### 『文化を転位させる：アイデンティティ・伝統・第三世界フェミニズム』

西洋は、第三世界の女性を「文化」という眼鏡越しに見ていないか、どこに立って発話しているのかと問う。

四六判 352 頁 定価 4,095 円  
2010 年刊

### 【表象論】

J.B. エルシュテイン著、小林史子・廣川紀子訳

#### 『女性と戦争』

ホメロスから映画「ランボー」まで、さまざまな戦争物語が生み出してきた男女像を解体。

四六判 486 頁 定価 4,515 円  
1994 年刊

R.M. デッカー他著、大木昌訳

#### 『兵士になった女性たち：近世ヨーロッパにおける異性装の伝統』

性を偽って軍隊に入り女と結婚して裁判にかけられた女性の運命は、近世オランダの資料や図像を読み解く。

四六判 262 頁 定価 2,730 円  
2007 年刊

法政大学出版局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7 法政大学一口坂校舎内 ~ご用命は小局営業部まで  
Tel : 03-5214-5540 Fax : 03-5214-5542 E-mail : sales@h-up.com URL : http://www.h-up.com/